

〈国語科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・ほぼ全ての観点において目標値、区の平均正答率、全国の平均正答率を上回った。
- ・特に知識及び技能の観点では、多くの問題で目標値を5ポイント以上、上回る良い結果となった。
- ・文章の構成を捉える問題において目標値と同等の値となっているため今後の課題となる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・段落のつながりに気を付け、指定された長さで具体的に書くこと。
- ・修飾語についての理解を深めること。
- ・漢字を覚えること。

〈思考力・判断力・表現力〉

- ・話に集中して聞くことや、話の中心に気を付けて話したり聞いたりすること。
- ・友達と互いの考えを比較しながら話したり聞いたりすること。
- ・文章の構成を正しく捉えること。また、文章を読んで理解したことをほかの例に当てはめて考えること。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・読書への意欲と、全体に向けて発言することへの積極性。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・三部構成を意識し、知らせたい事柄を中心にした文章が書けるよう、文型に沿って書く学習課題を設定する。
- ・教材文に書いてあることを正確に理解した上で、書いてあることを根拠にして答えを導くような発問を工夫する。
- ・漢字の筆順や熟語及びその意味などを丁寧に指導することで、興味や関心を引き出す。
- ・定期的なミニテストの実施によって、反復練習を徹底する。
- ・既習の漢字を使って文章を書くように指導する。
- ・辞書の活用・慣用句・ことわざ・百人一首に親しむなど、日常生活における言語活動を充実させ、言葉への理解を深める。

〈思考力・判断力・表現力〉

- ・具体物や画像、動画など、視覚的な情報を適宜与え、最後まで話に集中できるようにする。
- ・互いの考えを比較する交流ができるよう、「何のために交流するのか」という目的を明確にする。交流する人数を変えたり、考えを分類し、自分の立場を確認した上で異なる考えの友達と交流したりと、活動の形態を工夫する。
- ・段落同士のつながりを考えたり、段落同士をつなぐ接続語を考えたりする学習課題を設定する。
- ・学習カードや各行事のめあてカードなどを活用し、自分の思いや考えを限られた字数内で書く機会を設ける。
- ・説明文では、筆者がどのような事実に対して、どのような考えや意見を述べようとしているのかを捉えたり、段落の並び方に注目してそれぞれの段落の中心となる文を見つけて正しく並べたりする課題を設定する。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・読書については、教科書教材の関連図書や、学校図書館だよりを活用し、児童自らが発達段階に合う本を選べるようにする。また、『読書の記録』や『おすすめの本紹介カード』、『ビブリオバトル』を活用して、意欲を高める。
- ・交流活動の場面を設けて自分の考えに自信をもたせ、全体に向けて発言しようとする意欲につなげる。